

令和3年8月6日

沖縄県議会議長

赤 嶺 昇 殿

派 遣 議 員

団 長	末 松 文 信
	石 原 朝 子
	比 嘉 京 子
	瀬 長 美佐雄
	喜友名 智 子
	上 原 章

「県立病院で発生した大規模クラスター及び新型コロナウイルス
感染症対策の在り方に関する決議」の要請議員団報告書

上記のことについて、別紙のとおり報告します。

別紙

「県立病院で発生した大規模クラスター及び新型コロナウイルス感染症対策の在り方に関する決議」の要請議員団報告書

1 派遣議員

団長	末松文信
	石原朝子
	比嘉京子
	瀬長美佐雄
	喜友名智子
	上原章

2 派遣目的

令和3年第4回議会（定例会）の7月12日の会議において議決された上記決議の趣旨を沖縄県知事に要請するため。

3 派遣期間

令和3年7月12日（月）（1日）

4 要請日程

別紙のとおり

5 要請概要

団長が決議の趣旨を説明した後、県立病院における集団感染及び公表遅れの原因を明らかにするとともに、説明責任を十分に果たすこと、再発防止を徹底すること、県立病院の医療従事者が医療に専念できるように支援体制を強化すること、県新型コロナウイルス感染症対策本部や保健所の体制を強化すること等について要請した。

（以下、各議員の発言概要）

- （1）文教厚生委員会で答弁されたとおり、二度とこのようなことが起こらないようにしっかりと体制をつくり、病院事業局と病院側との信頼関係がしっかりと一つになって共に働いていけるような環境をぜひとも整備していただきたい。

- (2) 今回のことはこれまで一生懸命感染予防に取り組んでいる全ての関係者に、こういうことが起きたこと自体、あってはならない許されないことだったのではないかと。病院の現場から早く公表してほしいというあのシグナルが届かなかったというのが残念で、これからどう信頼を回復していくかについては、非常に大きな重たいことだと思う。知事がぜひリーダーシップを発揮して、しっかり今回のことをうやむやにしないで県民にしっかり説明していただきたい。
- (3) 今回起きたことを契機に組織体制の在り方、見直しと強化をお願いする。デルタ株への置き換わりにより非常に急速なスピードで第5波が来ようとしているという状況を踏まえて、これについての取組が遅れたり、戸惑ったり、決してそういうことがないようにぜひとも県庁が一丸となって、体制を整えていただきたい。
- (4) 最前線で頑張っている皆さんの心を折らないようにということは肝要である。公開の遅れは今後改善されて、速やかに県立病院としては報告するといった手法は当然である。
- 時期が許せば現場で働いている皆様の激励に行って、ぜひ県の立場も県民全体としてもまた感謝をしているということも伝えていただきたい。
- (5) この中部病院のクラスターの件で、県議会で議論が始まってから、医療現場の方たちからは最前線で毎日治療に当たっている職員を県が本当に守ってくれるのだろうか、政治が守ってくれるのだろうかという危機感が強くなっていると思う。それでも皆さん毎日冷静に治療に当たっておられる。この現場の方たちを支えるのが行政の役割だと思うので、今回の情報公開の発表の仕方はいま一度、県のほうでもできるだけ県民にオープンにするという形を改めて考えていただきたい。
- 委員会の答弁の中で知事が、黒塗り資料が出てきたときにしっかりとオープンにするようにきちんと指示を出したということは、今後も積極的にこういう知事からの直接の判断が本当に重要だと思うので、県のコロナ対策の組織の在り方も含めて、もっと知事が前面に出た形で判断をするというところは、今後さらに期待をしたい。

6 要請に対する答弁の要旨

○ 玉城デニー知事

せんだっては文教厚生委員会に私も出席をして説明をしたが、今般県議会において県立病院で発生した大規模クラスター及び新型コロナウイルス感染症対策の在り方に関する決議が全会一致で可決されたことは、大変重く受け止めている。

中部病院で発生したクラスターに関する詳細な情報の公表が遅れたことについては、委員会でも説明をし、本会議でも担当部長からも説明したが、病院事業局においてクラスター発生についての明確な公表基準がなかったことや、保健医療部、保健所、病院事業局、県立病院との間でコミュニケーションが不十分であったためそごが生じ、このことが今回の事案の主な原因となったものと認識をしている。

7月4日の拡大幹部会議で、今後このようなことのないよう県立病院におけるクラスター発生についての情報共有の在り方の見直しと、そしてそれぞれの部局間での連携体制の強化を図るよう関係部局に指示をした。また、8日には連携体制の強化と併せて、県立病院に勤務する医療関係者の不安解消を図るよう改めて指示を行った。

今後、このような県立病院における集団感染の原因を明らかにするほか、再発防止にも万全を期し、県民の信頼が得られるよう丁寧に説明するとともに、引き続きコロナ感染の拡大防止に向けて全力で取り組んでいく。

私も実は早速県医師会と、それから、専門家会議の座長の藤田先生と今週面談をするため日程を調整させていただいている。様々な御意見を伺って私たちがしっかりと取り組むべきところ、先生方が思いを持っていらっしゃるということも私も直接聞かせていただいて、部局ともしっかり検討を加えていきたい。特にどのようなものを加えるべきなのか、あるいはどこどこを医師会とつなげるべきかということを改めて確認をしながら、こういう事案がもう二度と起こることがないように、現場の皆さんが心折れることがないように現場を支えるためにしっかりと務めていきたい。

そして、今の状況がもう少し落ち着いてきたら、今度は現場に行き直接病院の皆さんにも声をかけて、県も力いっぱい支えていきますのでということで、ねぎらいながら激励もさせていただければと思うので、また、時間を見計らいながら現場には行きたい。

以上

別紙

要 請 日 程

月 日	曜日	時間	要 請 先 等	場 所
令和3年 7月12日	月	15:45 ～ 16:00	沖縄県知事 玉 城 デ ニ ー	知事第1応 接室